シャーシの管理

この章は、次の項で構成されています。

- Cisco UCS Manager GUI のシャーシ管理，1 ページ
- シャーシの削除および解放に関するガイドライン，1 ページ
- シャーシの確認，2 ページ
- シャーシの稼働中止，3 ページ
- シャーシの削除，3 ページ
- 単一シャーシの再稼動，3 ページ
- 複数のシャーシの再稼動，4 ページ
- シャーシの番号付け直し，5 ページ
- ロケータ LED の切り替え，6 ページ
- ヘルス LED アラーム，9 ページ
- シャーシの POST 結果の表示，11 ページ

Cisco UCS Manager GUI のシャーシ管理

Cisco UCS Manager GUI によって Cisco UCS ドメインのすべてのシャーシを管理および監視できます。

シャーシの削除および解放に関するガイドライン

Cisco UCS Manager を使ってシャーシの削除や解除を実行するかを決定するときは、次のガイドラインを考慮します。

シャーシの稼働中止

物理的に存在し接続されているシャーシを、一時的に Cisco UCS Manager 設定から削除する場合は、シャーシの稼働停止を実行します。解放されたシャーシは最終的に再稼働することが予測されるので、シャーシ情報部分は Cisco UCS Manager によって、将来使用するために残されています。

シャーシの削除

削除は、システムから物理的にシャーシを取り外すときに実行されます。シャーシの物理的な削除が完了すると、そのシャーシの設定は、Cisco UCS Manager で削除できます。

（注） 現在物理的に存在し接続されている場合、Cisco UCS Manager からシャーシを削除できません。

削除されたシャーシを設定に追加し直す必要がある場合、再接続し、再検出する必要があります。再検出中、Cisco UCS Manager は以前シャーシが持っていた ID と異なる新しい ID を割り当てます。

シャーシの確認

シャーシをファブリック インターコネクトに接続するリンクの数を増減させた場合は、次の手順を実行します。 シャーシを確認することにより、Cisco UCS Manager がリンク数の変化を認識していること、および使用可能なリンクすべてでトラフィックがフローしていることを確認できます。

ファブリック インターコネクト上でポートを有効または無効にした後、1 分以上待ってからシャーシを再認識させます。 シャーシを再認識させるのが早すぎると、シャーシからのサーバ トラフィックのピン接続が、有効または無効にしたポートに対する変更を使用して更新されないことがあります。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 確認するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Acknowledge Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
Cisco UCS Manager によって、シャーシの接続が解除され、システム内にシャーシとファブリック インターコネクトとの接続が再確立されます。

シャーシの稼働中止

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 稼働を停止するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Decommission Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
稼働が停止するまでには、数分間かかります。シャーシが設定から削除されると、Cisco UCS Manager はシャーシを [Decommissioned] タブに追加します。

シャーシの削除

はじめる前に

次の手順を実行する前に、シャーシを物理的に取り外します。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 削除するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Remove Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
削除が完了するまでに数分かかる場合があります。

単一シャーシの再稼動

この手順により、シャーシがコンフィギュレーションに再度追加され、このシャーシにシャーシディスカバリポリシーが適用されます。この手順を実行すると、シャーシおよびシャーシ内のすべてのサーバにアクセスできるようになります。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで [Equipment] ノードを展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 5 再稼動するシャーシに対して、次の手順を実行します。

a) シャーシを右クリックし、[Re-commission Chassis] を選択します。

b) [Re-commission Chassis] ダイアログボックスの [Chassis ID] フィールドで、文字を入力するか矢印を使用してシャーシに割り当てる ID を選択します。

c) [OK] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。この手順が終 了するまでに数分かかる場合があります。シャーシが再稼働すると、Cisco UCS Manager はシャーシ検出ポリシーを実行し、シャーシを [Navigation] ペインのリストに追加します。

複数のシャーシの再稼動

この手順により、シャーシがコンフィギュレーションに再度追加され、このシャーシにシャーシディスカバリ ポリシーが適用されます。 この手順を実行すると、シャーシおよびシャーシ内のすべてのサーバにアクセスできるようになります。

（注） 複数のシャーシを同時に再稼動する際に、シャーシの番号を付け直すことはできません。Cisco UCS Manager がシャーシに前と同じ ID を割り当てます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで [Equipment] ノードを展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 5 再稼動する各シャーシの行で、[Re-commission] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [Save Changes] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

この手順が終 了するまでに数分かかる場合があります。シャーシが再稼働すると、Cisco UCS Manager はシャーシ検出ポリシーを実行し、シャーシを [Navigation] ペインのリストに追加します。

シャーシの番号付け直し

（注） Cisco UCS Manager を通じたブレード サーバの番号の再設定はできません。 ブレード サーバに割り当てられる ID は、シャーシ内のその物理スロットで決まります。 ブレード サーバの番号を再設定するには、サーバをシャーシ内の別のスロットに物理的に移動する必要があります。

はじめる前に

シャーシ間で ID を交換する場合は、まず両方のシャーシを解放し、シャーシ解放 FSM が完了するのを待ってから、番号の再設定手順に進みます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードに以下が含まれていないことを確認してください。

- 番号を付け直すシャーシ
- 使用する番号を持つシャーシ

これらのシャーシのいずれかが [Chassis] ノードにリストされている場合は、それらのシャーシの稼働を停止します。続行する前に、稼働停止 FSM が完了し、シャーシが [Chassis] ノードにリストされなくなるまで待機する必要があります。これには数分かかる場合があります。

ステップ 4 [Equipment] タブで [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 5 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 6 番号を付け直すシャーシについて、次の手順を実行します。

a) シャーシを右クリックし、[Re-commission Chassis] を選択します。

b) [Re-commission Chassis] ダイアログボックスの [Chassis ID] フィールドで、文字を入力するか矢印を使用してシャーシに割り当てる ID を選択します。

c) [OK] をクリックします。

ステップ 7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

ロケータ LED の切り替え

ローカル ディスク ロケータ LED のステータス

ローカル ディスク ロケータ LED は、ローカル ディスクを挿入するスロットにあり、特定のディスクがブレードサーバまたはラック サーバに挿入されている場所を識別します。サーバ内の多数のディスクの中からメンテナンスのために特定のディスクを削除する必要がある場合に、ロケータ LED が役立ちます。

次の場合に、ローカル ディスク ロケータ LED を正常にオンまたはオフにできます。

- サーバの電源がオンになっている。サーバの電源がオフになっているときに、ロケータ LED をオンまたはオフにしようとすると、UCS Manager はエラーを生成します。
- CIMC バージョンは 2.7 以降です。
- RAID コントローラがアウトオブバンド（OOB）ストレージ インターフェイスをサポートする。

シャーシのロケータ LED の電源投入

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 位置を特定する必要があるシャーシをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Turn on Locator LED] をクリックします。
ロケータ LED の電源がすでにオンになっている場合、この処理は実行できません。

シャーシの LED が点滅を開始します。

シャーシのロケータ LED の電源切断

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 ロケータ LED の電源をオフにするシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Turn off Locator LED] をクリックします。
ロケータ LED の電源がすでにオフになっている場合、この処理は実行できません。

シャーシの LED の点滅が停止します。

ローカル ディスク ロケータ LED のオンとオフの切り替え

はじめる前に

オンとオフ

- ディスクが配置されているサーバの電源がオンになっていることを確認します。サーバの電源がオフの場合、ローカル ディスク ロケータ LED をオンまたはオフにすることはできません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] > *[Server Number]* を展開します。

ステップ 3 [Work] 領域で、[Inventory] > [Storage] > [Disks] タブを順にクリックします。
ストレージ コントローラ インベントリが表示されます。

ステップ 4 ディスクをクリックします。
ディスクの詳細が表示されます。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Turn on Locator LED] または [Turn off Locator LED] をクリックします。
[Locator LED] の状態が、[Properties] 領域に表示されます。

ステップ 6 [Save Changes] をクリックします。

NVMe PCIe SSD インベントリ

Cisco UCS Manager GUI は、Non-Volatile Memory Express（NVMe）Peripheral Component Interconnect Express（PCIe）SSD ストレージデバイスのインベントリを検出、識別、および表示します。サーバ内のストレージデバイスの状態を表示できます。NVMe 対応 PCIe SSD ストレージデバイスは、SAS または SATA の SSD と比較して、遅延を短縮し、1 秒あたりの入出力操作数（IOPS）を増加させ、電力消費を削減できます。

NVMe PCIe SSD ストレージ インベントリの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] を展開します。

ステップ 3 [Inventory] タブをクリックします。

ステップ 4 次のいずれかを実行します。

a) [Storage] タブをクリックします。
[Storage Controller NVME *ID number*] という名前の NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスの一覧が表示されます。名前、サイズ、シリアル番号、動作ステータス、状態、その他の詳細が表示されます。

b) NVMe PCIe SSD ストレージ デバイスをクリックします。
次のインベントリ詳細が表示されます。

名前	説明
ID	サーバで設定されている NVMe PCIe SSD ストレージデバイス。
モデル	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスのモデル。
リビジョン	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスのリビジョン。
RAID Support	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスが RAID 対応かどうか。

名前	説明
OOB Interface Support	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスがアウトオブバンド管理をサポートしているかどうか。
PCIe Address	仮想インターフェイス カード（VIC）上の NVMe PCIe SSD ストレージ デバイス。
Number of Local Disks	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスに含まれているディスク数。
Rebuild Rate	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスには適用されません。
ベンダー	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスを製造したベンダー。
PID	NVMe PCIe SSD ストレージデバイスの製品 ID（製品名、モデル名、製品番号とも呼ばれます）。
シリアル（Serial）	ストレージ デバイスのシリアル番号。

ヘルス LED アラーム

ブレード ヘルス LED は、各 Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバの前面にあります。Cisco UCS Manager では、センサー故障が発生すると、ブレード ヘルス LED が緑色からオレンジ色またはオレンジ色の点滅に変化します。

ヘルス LED アラームには次の情報が表示されます。

名前	説明
[Severity] カラム	アラームの重大度。次のいずれかになります。 • [Critical]：ブレードヘルス LED がオレンジで点滅します。これは赤色のドットで示されます。 • [Minor]：ブレード ヘルス LED がオレンジに点灯します。これはオレンジ色のドットで示されます。
[Description] カラム	アラームの簡単な説明。
[Sensor ID] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの ID。
[Sensor Name] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの名前。

ヘルス LED アラームの表示

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] > [*Chassis Number*] > [Servers] を展開します。

ステップ 3 ヘルス LED アラームを表示する対象のサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[View Health LED Alarms] をクリックします。
[View Health LED Alarms] ダイアログボックスに、選択したサーバのヘルス LED アラームが一覧表示されます。

ステップ 6 [OK] をクリックして、[View Health LED Alarms] ダイアログボックスを閉じます。

ヘルス LED ステータスの表示

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# **scope server***chassis-id*/*blade-id*	指定サーバのシャーシ サーバ モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # **show health-led expand**	選択したサーバのヘルス LED およびセンサー アラームを表示します。

次の例では、シャーシ 1 サーバ 1 のヘルス LED ステータスとセンサー アラームを表示する方法を示します。

```
UCS-A# scope server 1/1
UCS-A /chassis/server # show health-led
Health LED:
    Severity: Minor
    Reason:: P0V75_STBY:Voltage Threshold Crossed;TEMP_SENS_FRONT:Temperature Threshold
Crossed;
    Color: Amber
    Oper State:: On

    Sensor Alarm:
        Severity: Minor
        Sensor ID: 7
        Sensor Name: P0V75_STBY
        Alarm Desc: Voltage Threshold Crossed

        Severity: Minor
        Sensor ID: 76
        Sensor Name: TEMP_SENS_FRONT
        Alarm Desc: Temperature Threshold Crossed

        Severity: Minor
        Sensor ID: 91
        Sensor Name: DDR3_P1_D2_TMP
        Alarm Desc: Temperature Threshold Crossed

UCS-A /chassis/server #
```

シャーシの POST 結果の表示

シャーシ内のすべてのサーバおよびアダプタに対する Power On Self-Test プロセスで収集されたすべてのエラーを表示できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブの [Equipment] > [Chassis] を展開します。

ステップ 3 Power On Self-Test（POST）の結果を表示するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [View POST Results] をクリックします。

[POST Results] ダイアログボックスに、シャーシ内の各サーバとそのアダプタに対する POST の結果が一覧表示されます。

ステップ 6 （任意） アダプタのプロパティを表示するには、[Affected Object] カラムをクリックします。

ステップ 7 [OK] をクリックして [POST Results] ダイアログボックスを閉じます。